科目名称	在宅看護論Ⅰ(地域連携)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	西岡 智子	授業に関わる実務経験	■ 有 (看護師) □ 無	

【1】 授業概要

対象が生活する地域について理解を深める内容とする。そのため地域で生活するあらゆる成長段階にある、あらゆる健康レベルの人々に対し、行われている地域看護活動の概要を理解する。また、対象の健康課題をとらえ、健康を守るための諸施策や社会資源を理解する。さらに多様なニーズをもつ対象の生活を支えるために、制度や社会資源について理解し、保健・医療・福祉の有機的な連携をはかるための援助方法を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 地域を基盤として生活する対象を理解できる。
2. 退院支援の重要性を理解し、退院指導の方法が理解できる。
3. 関係する制度や社会資源を理解できる。
4. 社会資源の活用・連携の方法が理解できる。
5. 地域看護の役割と、目的・機能を理解できる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	地域で生活する対象の健康課題	講義
2	退院支援・退院調整のプロセス	講義
3	退院後の指導①(胃瘻を造設、膀胱留置カテーテルを挿入して退院するケース)	講義
4		
5	退院後の指導②(在宅での効果的な指導方法)	グループワーク
6	退院後の指導③(在宅酸素療法:HOTを導入するケース)	講義
7	退院後の指導④(在宅酸素療法:HOTを導入するケース)	演習
8	多職種との連携 社会資源とは 社会資源の活用	講義
9	社会資源Mapの作成	グループワーク
10	発表 ケアマネージャーとは 居宅介護支援事業所のケアマネージャー(介護支援専門員)の役割	講義
11	地域看護活動の場所と方法① 地域包括支援センター	講義
12	地域看護活動の場所と方法② 保健所・市町村保健センター	演習
13	地域看護活動の場所と方法③ 通所施設・福祉施設	講義
14	地域看護活動の場所と方法④ 学校・事業所	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験(80点)、レポート(20点)

【6】 教科書

河原 加代子:系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域在宅看護論1 医学書院 2022 (電子版)
河原 加代子::系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論2 医学書院 2022 (電子版)

【7】 参考書

宇都宮宏子・三輪恭子編:これからの退院支援・退院調整 日本看護協会出版会
臺有桂ほか著:在宅看護論―地域療養を支えるケア メディカ出版
松山市保健福祉発行:介護保険(パンフレット):第8回以降持参すること
財団法人 厚生統計協会編:国民衛生の動向 第11回以降持参すること

【8】 受講生へのメッセージ

全体を通して、老年看護学で学ぶ内容と関連付けて学習を深めてください。第 2～7 回は成人看護学Ⅲ、Ⅳと関連します。第3回、4回、第6回は基礎技術の復習をしてください。第8～10回は社会福祉Ⅰ、第11～14回は公衆衛生、関係法規が関連します。第11回は健康論の学習内容を復習してください。